

2021 年度看護学部 FD 委員会 活動報告

2021 年度の看護学部の FD 活動として、研修会、授業・実習のアンケートの実施とその結果に基づく教員表彰、及び大学院生と教員の研究活動への支援を行った。以下、主な活動について報告する。

1. 看護学部 FD 研修会

第 1 回を 8 月 3 日、第 2 回を 3 月 15 日に開催した。

第 1 回は、研究に関する内容として「今更聞けないけど知りたい、研究論文の執筆と投稿の基本的な事柄」のテーマで外部講師を招聘し、大学院生も参加可能とし、オンラインでの形式で実施した。合計 28 名が参加し、事後アンケートで 97%が「満足」と回答し好評を得た。

第 2 回は、教育に関する内容として「学生相談室のトリセツ&コロナ禍の学生たち ~『学生アンケート with コロナ』の結果から」のテーマで開催予定である。

2. 授業及び実習アンケート及び授業・実習アンケートを活用した教員表彰

・前期及び後期のそれぞれの講義・演習・実習科目についてアンケートが実施された。回収率を高めるための工夫を FD 委員会より助言し、回収率の向上に努めた。結果、前期授業アンケートについて、講義科目 40.9%、演習科目 37.6%と学内平均よりも高い回収率が得られた（大学全体の回収率：29.4%）。

・学生への結果を公表し、できるかぎり学生からの自由記入欄に記載されたコメントについては、教員からのコメントをフィードバックするよう協力を要請した。

・2021 年度の各アンケートの結果を踏まえ、看護学部 FD 委員会にて制定された内規に基づき、教員表彰を行う予定である。

3. 大学院生及び教員の研究活動への支援

・大学院生と教員の研究活動への支援を目的に、看護学部 FD 研修会の第 1 回については、大学院生も参加可能な形式とした。また、専門雑誌、とくに国際誌への投稿と採択されるコツや最新情報について提供し、講師と質疑応答を行う機会を設けた。大学院生と教員の研究成果を国際誌へ発信するための意欲を高める支援を行った。

4. 学部 FD 委員会の運営の見直しと ICT 環境の積極的な活用

・これまで整理されていなかった学部 FD 委員会のマニュアルを整備すると同時に、教員表彰についての要件について、合理的かつ現実的なものとなるよう、見直し、提案した。また、実習アンケート実施要領及び実習アンケート集計結果のレイアウト等も見直し、作業側の円滑さと結果の受け手側の理解がより得られるように、整理・修正した。

・学内の ICT 環境の積極的な活用（例.Zoom による研修会開催等）を図った。